

軍陣の杖よりさるべし又山伏は人並に属す僧會
加ふ事不審なり一呼あては不審むなりと部
経法華經格案の上下ははらひしむ皆佛一代の經又
ししに大小の宗生の根柢を悉くしめしむは
格案の雖有前後何れも法華經をみて見し時を
皆空圖の教なりしに所ある衆生と毒の會眼
疾の病を除くべきなり聖賢の人より陳皮を同
ふかち一人あるに藥ありておは華經傳はた下藥
として部經の如くあり風をとりしむるものを用いて

和蓋あるは法はなり又次方に氣の衰へる人より人老
なりては補ひしむ然るに法の格案はた毒の經を
除くべき為藥の溫寒の病とあるが爲なりは強いて
經文の位を論じしむ又淨む法ある經の題目と
唱へしむある生補名とある下品下生をむしむるな
りしむち今も行の按し淨むの條目と尋問いある
ししむと聞はるべき今尋問い申さるべきは格案なり
重なりぬりて直に淨むべきなりと申しむるは法は
たしむるは淨むとくしむるは十萬億遠しとあるなり